

CASBEE 京都-新築

標準システム

■使用評価マニュアル: CASBEE京都-新築(2015年版) | 使用評価ソフト: CASBEE京都-新築2015 (v.1.0)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)京都五条烏丸町ホテル計画	階数	地上9F,地下1階
建設地	京都市下京区烏丸通松原下五条烏丸町409番 他	構造	S造
用途地域	商業地域, 防火地域	平均居住人員	252 人
気候区分	6地域	年間使用時間	8,760 時間/年
建物用途	ホテル,	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2020年2月 予定	評価の実施日	2017年11月22日
敷地面積	1,126 m ²	作成者	東 晃司
建築面積	927 m ²	確認日	2017年11月22日
延床面積	8,260 m ²	確認者	金谷 明



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 1.1

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

標準計算
 ①参照値 100%
 ②建築物の取組み 81%
 ③上記②以外の 81%
 ④上記+ 81%

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q 環境品質

Q1 室内環境

Q1のスコア= 3.0

Q2 サービス性能

Q2のスコア= 2.8

Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア= 2.6

LR 環境負荷低減性

LR1 エネルギー

LR1のスコア= 3.8

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア= 3.2

LR3 敷地外環境

LR3のスコア= 2.8

3 設計上の配慮事項		その他
総合 沿道型美観地区、修徳まちづくり地区における町並みに配慮した外観意匠。 敷地の区画・形質の変更なし。		
Q1 室内環境 外皮の断熱性能に配慮し、複層ガラスを使用。 特定建材はすべてF☆☆☆☆を使用。	Q2 サービス性能 客室を22m以上確保(ツイン)。	Q3 室外環境(敷地内) 道路、隣地に対してなるべくセットバックした。
LR1 エネルギー 太陽光エネルギーの利用。	LR2 資源・マテリアル 節水型便器の採用。	LR3 敷地外環境 荷捌用駐車場の設置。サービス動線の分離。

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される